

山陰教区神門組仏教壮年会連盟 結成 40 周年 記念大会 を終えて

神門組仏教壮年会連盟事務局 三島一男

2025 年 10 月 12 日（日）、「神門組仏教壮年会連盟 結成 40 周年 記念大会」をラピタウェディングパレスにて 168 名のご登録のもと執り行いました。

記念式典は、厳かな雰囲気の中、正蓮寺住職 日溪浩道様の勤行「讃仏偈」、続いて「仏教壮年会連盟綱領」の唱和が行われ幕が開けました。

冒頭、須山宏幸実行委員長の挨拶では、結成から 40 年間支えてくださった諸先輩方への感謝、今後の活動への抱負、本大会が開催できたことへの関係者へのお礼が述べられました。

また、来賓としてお招きしました、山陰教区教務所長 農利信様、神門組組長 鈴木二郎様より祝辞を頂戴し、式典に華を添えていただきました。

その後、歴代理事長の本田和政様、井上静夫様、天野明浩様、伊藤貴博様へ今日までの功績に敬意を表し、感謝状の贈呈を行いました。

記念講演では、宗派仏教壮年会連盟 理事長 種村美樹様（東海教区員弁組 源光寺門徒）より、「仏壯の意義とこれからの方向性や取り組み」の演題のもと、ご講演いただきました。会員を増やすための方策とその必要性についてわかりやすくご教授くださいました。

祝賀会では、会員同志が 40 年を振り返りながら、お酒を酌み交わし、和やかな雰囲気の中で懇親を深めることができました。

最後に、本大会を開催するにあたり、各寺院より実行委員として会員並びにご住職にお出かけいただき、計 5 回の実行委員会を重ね、無事開催することができました。あらためて、感謝申し上げます。

